

県内企業景況調査結果

(2026年4～6月期実績、2026年7～9月期見通し)

— 県内景況は、拡大している —

(前回) 県内景況は、拡大している

○業況判断D.I.は「好転」超幅が縮小したものの、**17期連続のプラス**

来期は「好転」超幅がほぼ横ばいとなる見通し

(4ページ)

○景況天気は16期連続の「晴れ」。来期も引き続き「晴れ」となる見通し

(7ページ)

■主要D.I. (カッコ内は前回調査からの変動幅、単位：%ポイント)

(参考)

	業況判断D.I.	景況天気	売上D.I.	採算水準D.I.	資金繰りD.I.	雇用判断D.I.
当期 実績	4.6 (▲7.2)	晴れ 15.7 (▲4.6)	18.0 (+0.4)	28.9 (▲8.7)	0.3 (▲5.3)	54.1 (▲1.1)
来期 見通し	2.6	晴れ 15.3	14.8	33.1	▲2.0	54.1

[調査内容についてのお問い合わせ先]

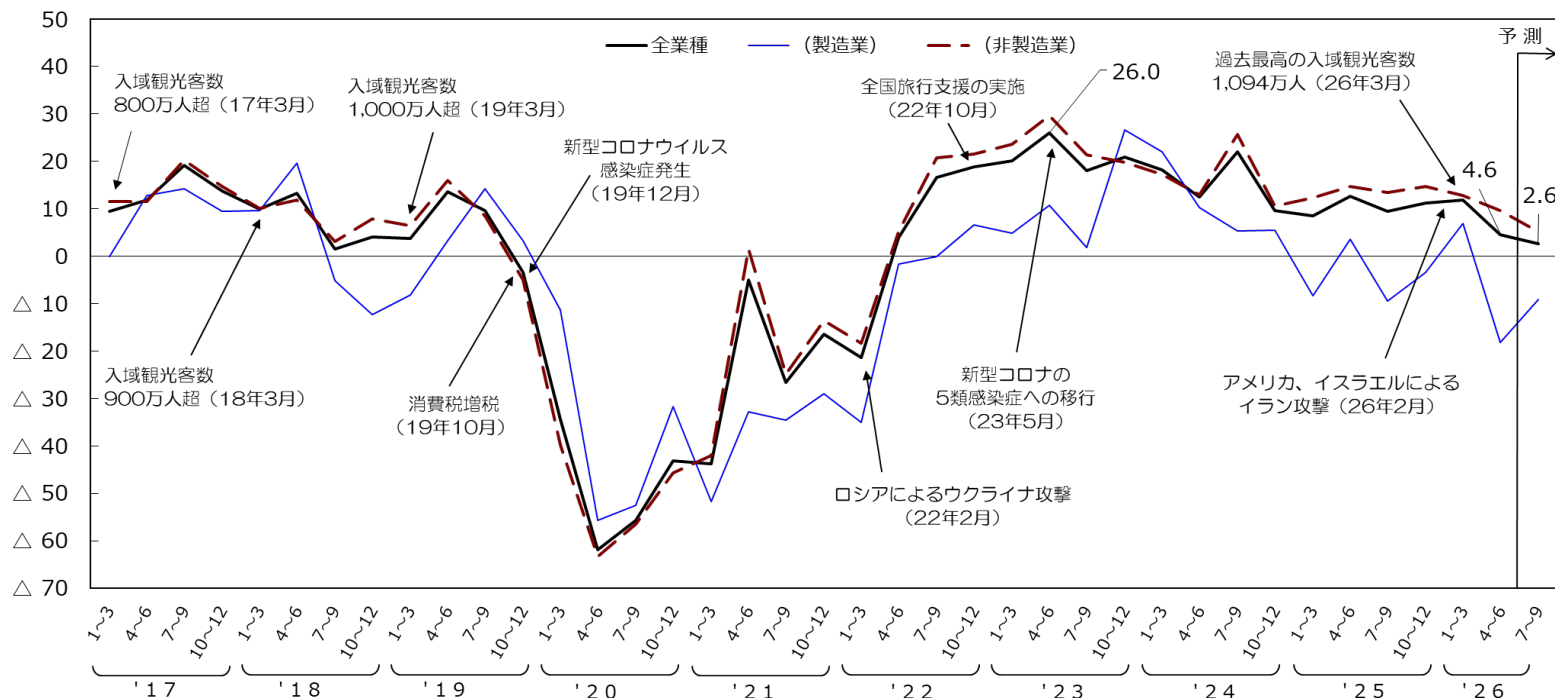
調査部 金融経済調査課(担当:奥間) 沖縄県那覇市おもろまち1-2-26 電話:098-941-1725

調査結果の概要 (I)業況判断D.I.

- 実績(4~6月期):「好転」超幅が縮小したものの、**17期連続のプラス**〔前期11.8%ポイント(以下、単位省略)⇒当期4.6〕
→ 中東情勢に伴う影響についての声が聞かれるものの、引き続き観光需要が堅調に推移していることから、県内景況は拡大している。
- 見通し(7~9月期):来期は「好転」超幅がほぼ横這いの見通し〔来期2.6〕
→ 引き続き原材料高、諸経費増、人手不足の影響はあるも、県内景況は総じて拡大基調が続くとみられる。
→ ただし、中東情勢の影響について、今後の動向を注視する必要がある。

図表I 業況判断D.I.の推移

(単位:%ポイント)



(2)景況天気図 (売上D.I.、採算水準D.I.、資金繰りD.I.の平均値)

実績：16期連続の「 晴れ」 [前期20.3⇒ 当期15.7]

運輸業で「 (快晴)」→「 (晴れ)」

製造業で「 (晴れ)」→「 (薄曇り)」

情報通信業で「 (晴れ)」→「 (曇り)」

飲食店・宿泊業で「 (晴れ)」→「 (快晴)」

建設業、卸売業、小売業、サービス業で引き続き「 (晴れ)」

見通し：引き続き「 晴れ」となる見通し [来期15.3]

建設業で「 (晴れ)」→「 (薄曇り)」

製造業で「 (薄曇り)」→「 (晴れ)」

飲食店・宿泊業で引き続き「 (快晴)」

卸売業、小売業、運輸業、サービス業で引き続き「 (晴れ)」

情報通信業で引き続き「 (曇り)」

図表2 全産業における景況天気図の推移

(単位：%ポイント)

区分 全産業	2025年				2026年			
	1～3月期 実績	4～6月期 実績	7～9月期 実績	10～12月期 実績	1～3月期 前回実績	4～6月期		7～9月期
						前回見通し	今回実績	今回見通し
景況天気図	 12.2	 17.0	 16.4	 18.2	 20.3	 (16.6)	 15.7	 15.3
 快晴 — 30以上～ 100以下  晴 — 10以上～ 30未満  薄曇り — △ 5以上～ 10未満  曇り — △ 30以上～△ 5未満  雨 — △100以上～△30未満								

I. 調査要領

1. 調査目的

本調査は、県内における企業の景況を把握し、企業経営のための情報を提供することを目的とする。

2. 調査対象

沖縄県内に本社のある法人企業のうち、原則として資本金1千万円以上かつ従業員数20名以上の企業を対象とする。

3. 調査対象企業数及び回答状況

項目 業種	調査対象 企業数 (A)	回答数 (B)	回答率 (%) (B)/(A) ×100	回答率 (前回)
全産業(※1)	363	305	84.0	84.1
製造業	68	55	80.9	85.3
建設業	67	59	88.1	88.1
卸売業	47	43	91.5	89.4
小売業	46	36	78.3	85.1
運輸業	32	27	84.4	87.5
情報通信業(※2)	23	21	91.3	82.6
サービス業	44	36	81.8	77.3
飲食店・宿泊業	33	25	75.8	72.7

※1 全産業には電力・ガス、不動産業が含まれるため、各業種合計と全産業の値は一致しない。

※2 情報通信業は、①通信業、②放送業、③情報サービス業、④出版・新聞業から構成される。

4. 調査方法

対象企業に調査票を郵送し自計記入またはWEB調査システムからの回答を求める方法。さらに、一部企業にヒアリングを実施。

5. 調査対象期間

当期：2026年4～6月期実績

来期：2026年7～9月期見通し

6. 調査実施期間

2026年5月下旬～2026年6月上旬

(発送：2026年5月22日、回収基準日：2026年6月5日)

7. 用語説明等

- 本調査は、原則として前年同期との比較による調査であるが、採算水準、在庫水準、雇用判断については当該期に関する質問となっている。
- D.I. (Diffusion Index) とは、質問に対しプラス、中立、マイナスの3つの選択肢を用意し、このうちプラスと答えた企業の割合から、マイナスと答えた企業の割合を差し引いたものである。
- 景況天気については、売上、採算水準、資金繰りD.I.を平均し、その値を5段階に区分して判定している。

Ⅱ. 調査結果 Ⅰ. 業況判断

— 当期は「好転」超幅が縮小したものの、17期連続のプラス

来期は「好転」超幅がほぼ横這いの見通し —

- ・ 自社の業況を総合的に判断する当期の業況判断D.I.（全産業）は4.6と、「好転」超幅が縮小したものの、**17期連続のプラス**となった。
- ・ 運輸業で燃料費、整備費負担増加の声が聞かれたものの、安定した運送需要により「好転」超幅が拡大した。
- ・ 製造業の一部で出荷量減少による売上高減少や諸経費負担増加、卸売業の一部で販売数量減少の声が聞かれ、情報通信業で競合の影響により「好転」超から「悪化」超へ転じた。
- ・ 来期の業況判断D.I.は 2.6と、「好転」超幅がほぼ横ばいの見通しとなっている。

図表3 業況判断D.I.（前年同期比、「好転」－「悪化」企業割合）

（単位：%ポイント）

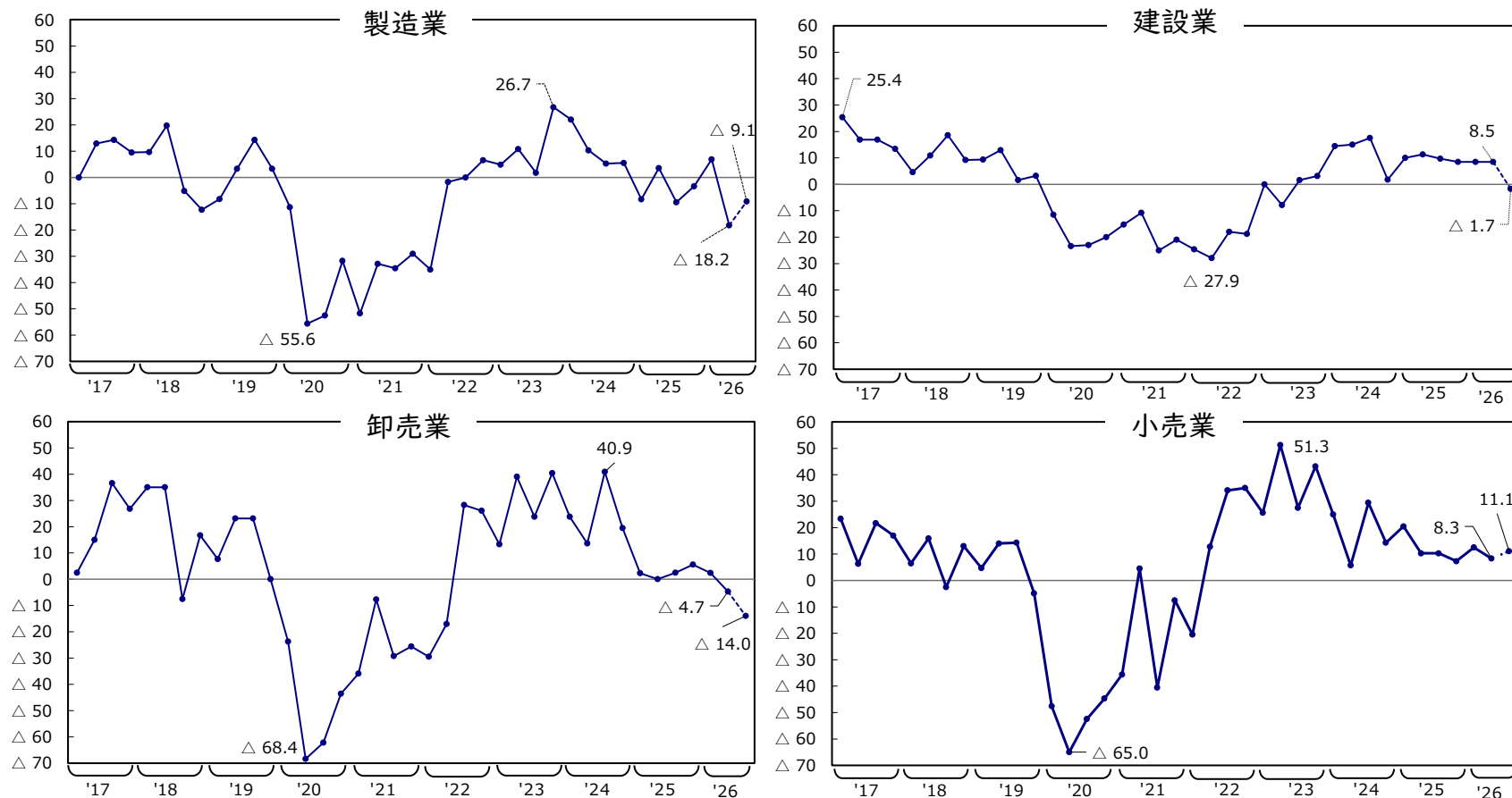
区分 業種		2025年				2026年			
		1～3月期 実績	4～6月期 実績	7～9月期 実績	10～12月期 実績	1～3月期	4～6月期		7～9月期
						前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業 D.I. (①—②)		8.5	12.7	9.5	11.2	11.8	(6.9)	4.6	2.6
	① 好転(%)	26.0	27.7	24.8	26.6	27.5	(20.6)	22.6	20.0
	不変(%)	56.4	57.3	59.8	57.9	56.9	(65.7)	59.3	62.6
	② 悪化(%)	17.6	15.0	15.4	15.5	15.7	(13.7)	18.0	17.4
	製 造 業	△ 8.3	3.6	△ 9.4	△ 3.3	6.9	(3.4)	△ 18.2	△ 9.1
	建 設 業	10.0	11.3	9.7	8.5	8.5	(3.4)	8.5	△ 1.7
	卸 売 業	2.3	0.0	2.5	5.6	2.4	(△9.5)	△ 4.7	△ 14.0
	小 売 業	20.5	10.3	10.3	7.3	12.5	(17.5)	8.3	11.1
	運 輸 業	17.2	25.8	34.5	28.6	21.4	(21.4)	29.6	18.5
	情報通信業(※)	11.1	5.3	0.0	0.0	15.8	(0.0)	△ 9.5	△ 14.3
	サービス業	△ 4.9	18.4	10.8	13.9	14.7	(8.8)	11.1	13.9
	飲食店・宿泊業	40.7	38.5	34.8	50.0	29.2	(20.8)	24.0	36.0

※情報通信業は、①通信業、②放送業、③情報サービス業、④出版・新聞業から構成される。

- ・ 製造業では、窯業土石で出荷量減少による売上高減少や諸経費負担増加、食料品で包装資材の高騰により「好転」超から「悪化」超へ転じた。
- ・ 建設業では、資材価格の高騰や入荷遅延の声が聞かれたものの、手持ち在庫による対応や底堅い建設需要により「好転」超幅が横這いとなった。
- ・ 卸売業では、飲食料品で販売数量減少や仕入価格高騰により「好転」超から「悪化」超へ転じた。

図表4-1 業種別の業況判断D.I.の推移

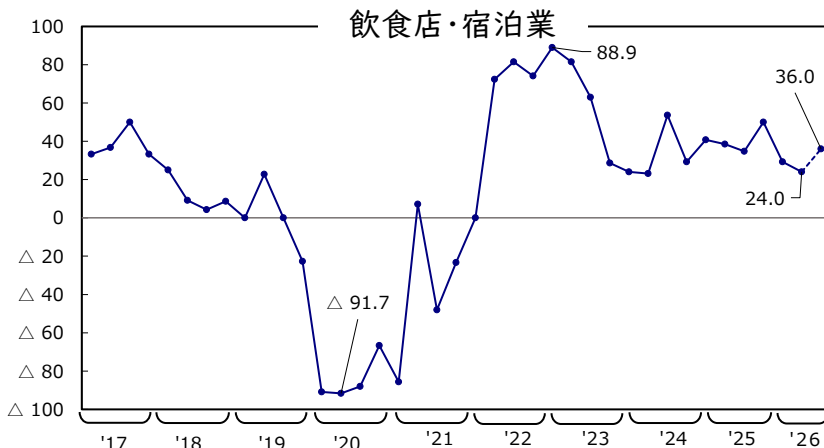
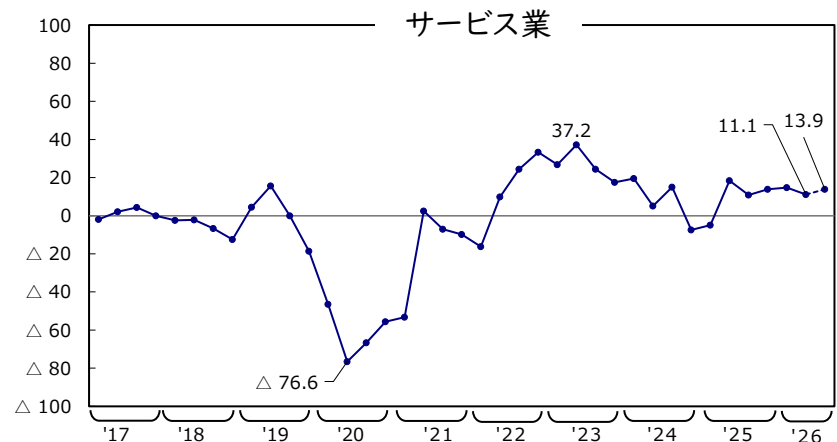
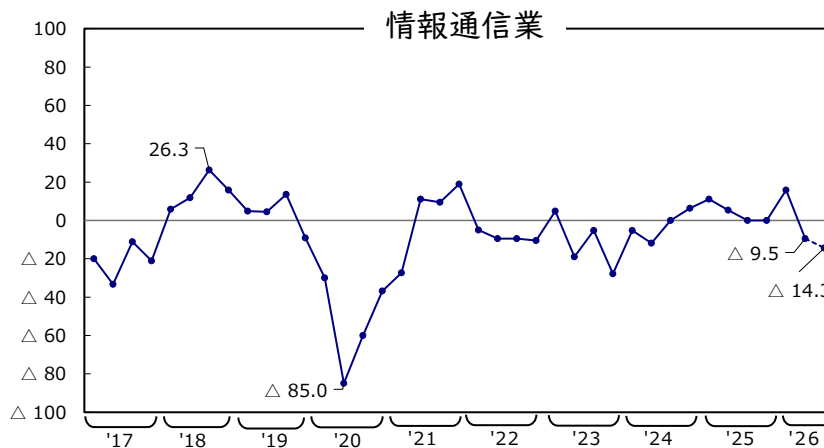
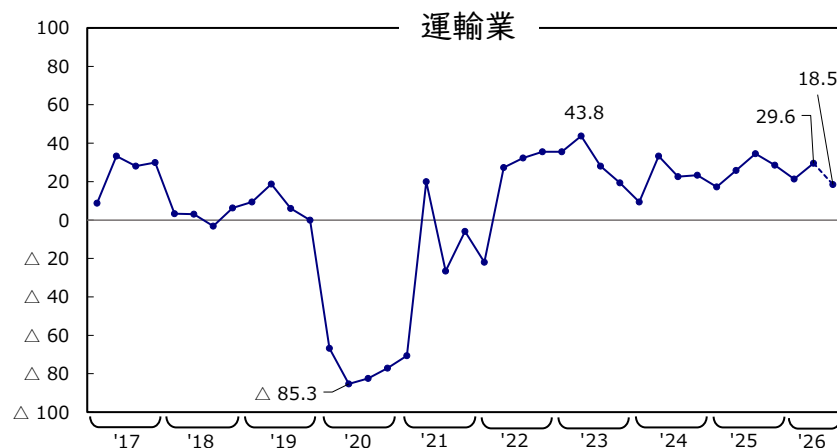
(単位:%ポイント、点線は見通し)



- 運輸業では、燃料費負担増加や油脂類、塗料、部品高騰による整備費負担増加の声が聞かれるものの、価格転嫁の実施や安定した運送需要により「好転」超幅が拡大した。
- 情報通信業では、情報サービス業で競合の影響により「好転」超から「悪化」超へ転じた。

図表4-2 業種別の業況判断D.I.の推移

(単位:%ポイント、点線は見通し)



2. 景況天気

— 当期は16期連続の「晴れ」、来期も「晴れ」の見通し —

- 当期の県内企業の動向を全産業ベースでみると、資金繰りD.I.（5.6→0.3）で「楽」超幅が縮小、採算水準D.I.（37.6→28.9）で「黒字」超幅が縮小となったものの、売上D.I.（17.6→18.0）で「増加」超幅がほぼ横這いとなったことから、景況天気（20.3→15.7）は「晴れ」となった。
- 来期の見通しは、資金繰りD.I.（△2.0）で「楽」超から「苦しい」超へ転じ、売上D.I.（14.8）で「増加」超幅がやや縮小するものの、採算水準D.I.（33.1）で「黒字」超幅がやや拡大することから、景況天気（15.3）は引き続き「晴れ」の見通し。

図表5-1 景況天気図（売上D.I.、採算水準D.I.、資金繰りD.I.の平均値）

（単位：%ポイント）

業種	区分	2025年				2026年			
		1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期		7～9月期
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業		12.2	17.0	16.4	18.2	20.3	(16.6)	15.7	15.3
製造業		8.3	9.5	△2.5	10.6	13.8	(16.7)	8.5	15.8
建設業		6.7	12.9	9.7	5.6	14.1	(6.8)	14.7	9.0
卸売業		21.7	18.3	17.5	19.4	17.5	(15.1)	18.6	10.9
小売業		23.9	25.6	30.8	31.7	27.5	(30.8)	19.4	28.7
運輸業		20.7	32.3	25.3	26.2	34.5	(21.4)	21.0	14.8
情報通信業		△5.6	△8.8	△1.7	△1.9	10.5	(0.0)	△9.5	△9.5
サービス業		6.5	16.7	25.2	18.5	23.5	(19.6)	20.4	20.4
飲食店・宿泊業		12.3	28.2	43.5	47.2	29.2	(20.8)	30.7	32.0

	快晴	—	30以上～100以下
	晴	—	10以上～30未満
	薄曇り	—	△5以上～10未満
	曇り	—	△30以上～△5未満
	雨	—	△100以上～△30未満

図表5-2 全産業における主要3指標の推移

区分	2026年			
	1～3月期	4～6月期	7～9月期	
全産業	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
売上D.I.	17.6	(17.0)	18.0	14.8
採算水準D.I.	37.6	(32.7)	28.9	33.1
資金繰りD.I.	5.6	(0.0)	0.3	△2.0

2-1. 売上

— 当期は「増加」超幅がほぼ横這い、来期は「増加」超幅がやや縮小する見通し —

- 当期の売上D.I.は、全産業で18.0と「増加」超幅がほぼ横這いとなり、17期連続で「増加」超を維持した。
- 情報通信業で案件受注時期の後ずれ等による売上高減少により「増加」超幅が大幅に縮小した。
- 建設業で民間工事や公共工事の獲得により「減少」超から「増加」超に転じ、飲食店・宿泊業で引き続き観光需要が堅調に推移していることにより「増加」超幅が大幅に拡大し、卸売業で価格転嫁により「増加」超幅が拡大した。
- 来期は、全産業で14.8と「増加」超幅がやや縮小する見通しとなっている。

図表6 売上D.I. (前年同期比、「増加」-「減少」企業割合)

(単位:%ポイント)

区分 業種		2025年				2026年			
		1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期		7～9月期
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業 D.I (①—②)		7.5	11.8	11.1	11.5	17.6	(17.0)	18.0	14.8
	① 増加(%)	37.3	38.9	36.9	36.8	40.5	(33.7)	41.3	33.8
	不変(%)	32.9	34.1	37.3	37.8	36.6	(49.7)	35.4	47.2
	② 減少(%)	29.8	27.1	25.8	25.3	22.9	(16.7)	23.3	19.0
	製 造 業	△ 8.3	△ 3.6	△ 9.4	5.0	12.1	(19.0)	5.5	14.5
	建 設 業	△ 5.0	3.2	0.0	△ 6.8	△ 3.4	(△5.1)	6.8	0.0
	卸 売 業	18.6	△ 12.5	△ 10.0	△ 13.9	2.4	(△7.1)	11.6	△ 4.7
	小 売 業	28.2	30.8	28.2	26.8	35.0	(40.0)	30.6	41.7
	運 輸 業	10.3	35.5	37.9	17.9	35.7	(32.1)	29.6	18.5
	情報通信業	△ 27.8	0.0	20.0	11.1	21.1	(15.8)	4.8	△ 4.8
サービス業	7.3	13.2	18.9	22.2	29.4	(29.4)	22.2	27.8	
飲食店・宿泊業	40.7	50.0	43.5	58.3	37.5	(33.3)	56.0	36.0	

2-2. 採算水準

— 当期は「黒字」超幅が縮小、来期は「黒字」超幅がやや拡大する見通し —

- 当期の採算水準D.I.は全産業で28.9と「黒字」超幅が縮小した。
- 来期は、全産業で33.1と「黒字」超幅がやや拡大する見通しとなっている。

図表7 採算水準D.I. (当該期、「黒字」-「赤字」企業割合)

(単位:%ポイント)

区分 業種		2025年				2026年			
		1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期		7～9月期
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業 D.I (①―②)		32.0	33.1	35.9	35.5	37.6	(32.7)	28.9	33.1
① 黒字(%)		48.3	47.5	50.0	48.0	50.3	(43.8)	43.9	44.9
トト(%)		35.4	38.2	35.9	39.5	36.9	(45.1)	41.0	43.3
② 赤字(%)		16.3	14.3	14.1	12.5	12.7	(11.1)	15.1	11.8
製 造 業		33.3	35.7	20.8	26.7	34.5	(36.2)	23.6	41.8
建 設 業		26.7	24.2	25.8	22.0	39.0	(23.7)	33.9	28.8
卸 売 業		51.2	60.0	62.5	63.9	52.4	(47.6)	46.5	39.5
小 売 業		46.2	38.5	56.4	51.2	40.0	(45.0)	33.3	41.7
運 輸 業		44.8	41.9	31.0	42.9	50.0	(32.1)	25.9	18.5
情報通信業		0.0	△ 15.8	△ 20.0	△ 11.1	0.0	(△5.3)	△ 23.8	△ 14.3
サービス業		29.3	34.2	45.9	30.6	35.3	(29.4)	33.3	36.1
飲食店・宿泊業		3.7	23.1	56.5	54.2	29.2	(33.3)	32.0	56.0

2-3. 資金繰り

— 当期は「楽」超幅が縮小、来期は「楽」超から「苦しい」超へ転じる見通し—

- 当期の資金繰りD.I.は、全産業で0.3と「楽」超幅が縮小した。
- 来期は、全産業で△2.0と「楽」超から「苦しい」超へ転じる見通し。

図表8 資金繰りD.I. (前年同期比、「楽」-「苦しい」企業割合)

(単位:%ポイント)

区分 業種	2025年				2026年			
	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期		7～9月期
	実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業 D.I. (①—②)	△ 2.8	6.1	2.3	7.6	5.6	(0.0)	0.3	△ 2.0
① 楽 (%)	10.0	14.3	10.5	14.8	11.8	(9.2)	9.5	8.5
不変 (%)	77.1	77.4	81.4	78.0	82.0	(81.7)	81.3	81.0
② 苦しい(%)	12.9	8.3	8.2	7.2	6.2	(9.2)	9.2	10.5
製 造 業	0.0	△ 3.6	△ 18.9	0.0	△ 5.2	(△5.2)	△ 3.6	△ 9.1
建 設 業	△ 1.7	11.3	3.2	1.7	6.8	(1.7)	3.4	△ 1.7
卸 売 業	△ 4.7	7.5	0.0	8.3	△ 2.4	(4.8)	△ 2.3	△ 2.3
小 売 業	△ 2.6	7.7	7.7	17.1	7.5	(7.5)	△ 5.6	2.8
運 輸 業	6.9	19.4	6.9	17.9	17.9	(0.0)	7.4	7.4
情報通信業	11.1	△ 10.5	△ 5.0	△ 5.6	10.5	(△10.5)	△ 9.5	△ 9.5
サービス業	△ 17.1	2.6	10.8	2.8	5.9	(0.0)	5.6	△ 2.8
飲食店・宿泊業	△ 7.4	11.5	30.4	29.2	20.8	(△4.2)	4.0	4.0

3. 借入難易

— 当期は「容易」超幅がやや縮小、来期は「容易」超幅がほぼ横這いの見通し —

- 当期の民間金融機関からの借入難易D.I.は、全産業で2.0と「容易」超幅がやや縮小した。
- 来期は、全産業で1.6と「容易」超幅がほぼ横這いとなる見通しとなっている。

図表9 借入難易D.I. (前年同期比、「容易」-「困難」企業割合)

(単位:%ポイント)

区分 業種		2025年				2026年			
		1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期		7～9月期
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業 D.I (①—②)		2.8	4.8	4.9	5.3	4.2	(2.9)	2.0	1.6
	① 容易(%)	5.0	6.7	7.2	7.6	6.2	(5.9)	5.2	5.2
	不変(%)	92.8	91.4	90.5	90.1	91.8	(91.2)	91.5	91.1
	② 困難(%)	2.2	1.9	2.3	2.3	2.0	(2.9)	3.3	3.6
	製 造 業	1.7	1.8	5.7	3.3	1.7	(0.0)	0.0	△ 1.8
	建 設 業	6.7	9.7	4.8	3.4	3.4	(5.1)	0.0	1.7
	卸 売 業	4.7	5.0	0.0	2.8	2.4	(2.4)	7.0	7.0
	小 売 業	0.0	7.7	5.1	9.8	7.5	(5.0)	2.8	△ 2.8
	運 輸 業	0.0	△ 3.2	0.0	7.1	7.1	(7.1)	7.4	7.4
	情報通信業	0.0	△ 5.3	0.0	0.0	0.0	(0.0)	0.0	0.0
	サービス業	7.3	13.2	5.4	2.8	0.0	(0.0)	0.0	0.0
	飲食店・宿泊業	△ 3.7	0.0	21.7	16.7	16.7	(4.2)	0.0	4.0

Ⅲ. 参考 販売数量、販売価格

参考1. 販売数量 ※製造業・卸売業・小売業のみ

- 当期は△4.5と「減少」超幅がやや拡大した。来期も△7.5と「減少」超幅がやや拡大する見通しとなっている。

図表10 販売数量D.I. (前年同期比、「増加」－「減少」企業割合)

(単位:%ポイント)

区分 業種		2025年				2026年			
		1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期		7～9月期
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業	D.I (①—②)	△ 12.0	△ 13.3	△ 13.6	△ 2.9	△ 0.7	(10.7)	△ 4.5	△ 7.5
	① 増加(%)	25.4	25.9	25.0	28.5	32.1	(30.0)	29.1	21.6
	不変(%)	37.3	34.8	36.4	40.1	35.0	(50.7)	37.3	49.3
	② 減少(%)	37.3	39.3	38.6	31.4	32.9	(19.3)	33.6	29.1

参考2. 販売価格 ※製造業・卸売業・小売業のみ

- 当期は63.4と「上昇」超幅が拡大した。来期は64.9と「上昇」超幅がほぼ横這いとなる見通しとなっている。

図表11 販売価格D.I. (前年同期比、「上昇」－「下降」企業割合)

(単位:%ポイント)

区分 業種		2025年				2026年			
		1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期		7～9月期
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業	D.I (①—②)	50.0	59.3	50.0	48.9	53.6	(47.9)	63.4	64.9
	① 上昇(%)	54.2	63.0	59.1	53.3	57.1	(51.4)	64.9	67.2
	不変(%)	41.5	33.3	31.8	42.3	39.3	(45.0)	33.6	30.6
	② 下降(%)	4.2	3.7	9.1	4.4	3.6	(3.6)	1.5	2.2

在庫水準、雇用判断

参考3. 在庫水準 ※製造業・卸売業・小売業のみ

- 当期末は△2.2と、前期末と比べて「過剰」超幅が縮小した。

図表12 在庫水準D.I. (当該期末の水準、「不足」-「過剰」企業割合)

(単位:%ポイント)

業種 区分	2025年				2026年	
	3月期末	6月期末	9月期末	12月期末	3月期末	6月期末
全産業D.I. (①-②)	△ 6.3	△ 9.6	△ 3.8	△ 5.1	△ 7.9	△ 2.2
① 不足(%)	3.5	1.5	5.3	3.6	3.6	9.0
適正(%)	86.6	87.4	85.6	87.6	85.0	79.9
② 過剰(%)	9.9	11.1	9.1	8.8	11.4	11.2

参考4. 雇用判断

- 当期の雇用判断D.I.は、全産業で54.1と「不足」超幅がほぼ横這いとなった。
- 来期は、全産業で54.1と「不足」超幅が横這いとなる見通しとなっている。

図表13 雇用判断D.I. (当該期、「不足」-「過剰」企業割合)

(単位:%ポイント)

業種 区分	2025年				2026年			
	1~3月期 実績	4~6月期 実績	7~9月期 実績	10~12月期 実績	1~3月期	4~6月期		7~9月期
					前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業 D.I. (①-②)	56.4	56.1	53.3	57.2	55.2	(55.2)	54.1	54.1
① 不足(%)	57.7	57.0	54.9	58.6	56.9	(56.9)	55.1	55.4
適正(%)	41.1	42.0	43.5	40.1	41.5	(41.5)	43.9	43.3
② 過剰(%)	1.3	1.0	1.6	1.3	1.6	(1.6)	1.0	1.3

経営上の問題点

参考5. 経営上の問題点

- 経営上の問題点としては、「**原材料高**」が最も高く、続いて「**求人難**」、「**人件費の増加**」、「**人件費以外経費の増加**」の順となった。
- 業種別では、製造業、卸売業、小売業、運輸業、飲食店・宿泊業では「**原材料高**」の割合が、建設業では「**原材料高**」と「**求人難**」の割合が、サービス業では「**求人難**」の割合が、情報通信業では「**売上の不振**」の割合が最も高かった。

図表14 経営上の問題点（複数回答）

